

水レター「びわ湖・よど川」

2012. 7【vol. 25】
独立行政法人 水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

目 次

1. 関西管内の気象および水源状況 1p
2. 日本初となる国際大ダム会議大会が京都で開催！ 3p
3. 疑問?に答えるコーナー “民間委託の拡大って?” 4p
4. 施設見学会（報告）
 - (1)平成24年度第1回施設見学会が高山ダム・布目ダムで開催！ 5p
 - (2)機構職員、村野浄水場で水の製造を学ぶ！ 6p
5. 水資源機構の積立金に関する説明会を実施 7p
6. 『仕事への取り組み方等キャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』をご紹介 7p
7. イベント情報
 - (1)報 告 8p
 - ① “湖と田んぼの自然ふれあう” 自然観察会の開催
 - ② 青蓮寺ダムの森林浴いっぱいの環境のもとで名張クリーン大作戦、大成功！
 - ③ 爽快!!青山高原つつじクォーターマラソン
 - (2) これからの予定 11p
8. 青蓮寺ダム・比奈知ダム・室生ダムが地元テレビで紹介される！ 12p
9. ダム技術者の原点「黒部の太陽」がついに関西地区で上映 12p
10. 編集後記 13p

1. 関西管内の気象および水源状況

気象庁の発表によると、近畿地方は6月8日ごろ梅雨入りしました。

梅雨前線は、月前半は梅雨前線が日本の南海上に停滞し、その後、後半にかけて本州付近に停滞しています。

6月12日15時にカロリン諸島の北北西の海上で発生した台風4号は、19日に和歌山県南部に上陸し、近畿地方にまとまった降雨をもたらしました。また、21日に台湾付近で温帯低気圧となった台風5号による暖かく湿った空気の影響で、梅雨前線の活動が活発となりました。

台風や活発な梅雨前線の影響により、6月の降水量は各水源地域で平年値を上回りました。

～ 水資源機構(関西管内)の水源状況 ～

平成24年7月6日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※4※5}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	115.82	1,218	88.2	258	209
青蓮寺ダム	272.48	1,500	97.4	254	183
室生ダム	289.02	769	94.3	276	205
布目ダム	280.09	964	96.4	262	201
比奈知ダム	291.46	908	96.5	262	173
一庫ダム	135.44	1,341	100.8 ^{※3}	202	193
日吉ダム	178.15	1,550	96.8	178	162
琵琶湖開発	B.S.L. -16cm ^{※1}	—	—	265.2	184
7ダム 合計	—	8,250	95.9%	—	—

※1 琵琶湖水位は、7月6日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、6月16日より夏場に必要な利水容量で計算しています。

※3 一庫ダムは、6月16日～7月15日にかけて、弾力的管理試験(制限水位移行方式)を実施しています。

※4 降水量について、琵琶湖開発は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

※5 降水量は、6月1日～30日までの累計値です。

～ 水資源機構(関西管内)ダムの操作状況 ～

施設名	防災態勢 発令日時		
	高山ダム	6月16～17日	6月19～24日
青蓮寺ダム		6月19～20日	
室生ダム	6月16～17日	6月19～20日	6月21～23日
布目ダム	6月17日		6月21～22日
比奈知ダム		6月19～20日	
一庫ダム	6月16～17日	6月19～20日	6月22日
日吉ダム	6月17～18日	6月19～20日	6月22日

※上記のダムで、ゲート放流した期間を示しております。

水資源機構の関西管内における各ダムの貯水状況は、関西支社HPの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigenn/suigenn.html>

【Topic】

台風4号が伊予島南部に上陸 6月の上陸は平成16年以来3年ぶり

-台風4号は韋駄天(いでてん)台風 今年の台風12号(牛歩台風)とは正反対-

高気圧の張り出しと偏西風の影響

①平成24年の韋駄天台風4号の特徴

日本列島の遙か南からの太平洋高気圧の張り出しで台風の進路が北に押し上げられた上、列島上空を西から東に流れる「偏西風」が日本列島付近で南に蛇行した流れとなり、台風4号がこの流れに乗り観測史上7番目に早い列島上陸となった。

その結果、19日午後5時過ぎに和歌山県南部に上陸後、午後8時過ぎには愛知県東部に再上陸するという超スピード台風となる。



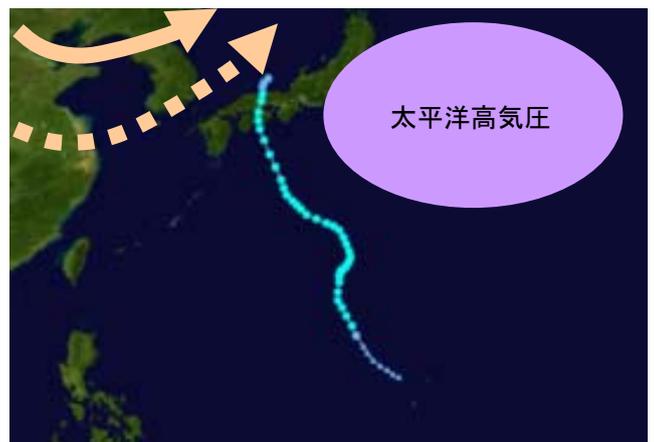
平成24年 台風4号の進路

(出典元：ウィキペディア フリー百科事典)

②昨年(平成23年)の牛歩台風12号の特徴

日本列島の東北関東地方に東から太平洋高気圧の張り出して台風の行く手を阻み、列島上空を西から東に流れる「偏西風」が弱まって大きく日本列島を外れて北上した。(太点線から太実線へ)

その結果、日本列島南部に接近した台風12号は、ほとんど停滞した牛歩台風となり、9月1日から4日間に渡る記録的大雨と大災害をもたらしたことは記憶に新しいところである。



平成23年 台風12号の進路

(出典元：ウィキペディア フリー百科事典)

2. 日本初となる“国際大ダム会議”が京都で開催！

関西支社 設計環境課 尾西 昭彦

去る6月6日(水)～8日(金)に“国際大ダム会議※¹京都大会”が京都国際会館にて開催され、世界69カ国のダム技術の指導的役割を果たす技術者約1,350名が参加しました。大会を日本で開催するのは、初めてのことです(年次例会総会は過去に3回開催されています)。

水資源機構からは、甲村理事長が組織委員会委員を務めるとともに、論文「ダム事業における社会および環境への影響の緩和～徳山ダムの事例～」他4題を発表しました。

また、6月5日から3日間、展示会場が設営され、国内外の企業・公社等合わせて56社がダム技術に関する展示を実施しました。

関西管内からは、6名(関西支社・川上ダム建設所・琵琶湖開発総合管理所・木津川ダム総合管理所)の職員が参加し、「①水資源機構の概要、②徳山ダム建設事業の概要、③貯水池水質保全対策の概要、④H21名張川上流ダム群連携操作による洪水被害低減の概要、⑤東日本大震災の対応概要、⑥NARBO※²の概要」についてのポスターの説明を行い、合わせて、外国からの参加者に英文チラシを配布し、当機構が現在実施している主な事業についても広報しました。

各国の会議参加者が会議の合間や昼食時に展示会場を訪れておられました。

最後に、当機構ブースには、NARBO設立に参加したインドネシアの方や、来日して機構で研修を受けられたマレーシアの方などが顔を出し、当時それぞれの業務に関わった職員と旧交を温める場面もありました。外国語が堪能な職員により東南アジアで河川流域ネットワーク機構が構築され、今もその業績が各国で信頼を得られているような感じがしました。



※¹ 国際大ダム会議は1928年に創設された民間団体(本部パリ)2011年現在95カ国が加盟し、ダム関係土木構造物の設計、施工、保守および運用、環境等に関する技術について各種委員会を設置し、調査研究を行い3年ごとに世界大会を開催している。

※² 「NARBO」とは、“Network of Asian River Basin Organizations”の略称で、アジア全体の河川流域における統合的水資源管理達成のための支援を行うことを目的としたネットワークで、現在アジア10ヶ国43機関が参加。

3. 疑問?に答えるコーナー



水資源機構では、平成22年12月7日の閣議決定「独立行政法人の事務・事業見直しの基本方針」において、水機構が行う管理業務において、「安全や利害調整に直結しない業務については、コストを検証しつつ可能な部分について民間委託を行う。」とされたことから、現在、民間委託の拡大に取り組んでいます。利水者の方々より、民間委託の拡大状況についてお問い合わせがありましたのでご紹介します。

民間委託の拡大って？

Q 昨年12月28日に水資源機構のホームページにおいて公表された「維持管理業務等民間委託拡大計画の策定」とは何？

A 平成22年12月7日に閣議決定された「独立行政法人の事務・事業の見直し方針」において、水資源機構が行うダム・用水路等の管理について講ずべき措置とされた「維持管理業務等の民間委託の拡大」について、機構が定めた具体的な計画です。

Q 民間委託する維持管理業務等とは具体的にどのような業務なの？

A 全てを機構職員が自ら実施している業務のうち、安全や利害調整に直結しない業務については新たに民間委託を実施します。

具体的には次の業務となります。

【ダム管理】

洪水調節状況などに関するデータ整理等、水文・気象情報等の把握、利水放流バルブの制御補助、水位やバルブの状態監視、管理日報・月報・年報の作成、機構施設の巡視補助等

【水路管理】

取水バルブ、幹線ゲート・分水工の制御補助、監視、配水に係る施設巡視、管理日報・月報・年報データの作成、水文・気象情報等の整理

Q 民間委託の拡大の実施時期はいつから？全ての管理事業で実施するの？

A 民間委託の拡大の進め方は、民間委託の拡大を万全に行うために、管理業務に支障を来すことのないよう、実現の可能性を検証する必要があります。

検証にあたっては、「コスト比較」、「受注業者の確保」並びに「信頼性の確保」の観点から実施することが必要となるため、モデル地区を設定して平成24年4月から試行的に実施し、データの蓄積状況を踏まえ、全管理事業において順次民間委託を拡大することとしております。

「維持管理業務等民間委託拡大計画」のホームページはこちらをご覧ください。



<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/itaku/index.html>

◎水機構の業務、取り組みについてよく分からないとお感じになりましたらご意見をお寄せ下さい。

4. 施設見学会（報告）

(1) 平成24年度第1回施設見学会を高山ダム・布目ダムで開催！

平成24年6月13日（水）・14日（木）に、利水者の皆様を対象とした施設見学会を実施し、高山ダム・布目ダムにおける水質保全設備やゲート設備等を見学いただきました。

施設見学会は、総勢30名が参加し、見学会に参加された方々からは、「実際に現場に勤務している職員が、様々な質問に答えてくれたので、理解しやすかった。」という意見や「実際に施設を見学して、ダムの大きさや水の流れだけでなく、普段どの様にダム管理業務が行われているのかが解った。」や「普段見ることができない設備等が見学できて、勉強になった。」など、ダムの管理業務をご理解いただけたと感じております。

また、施設見学会の最後に行った意見交換では、「出水時において、職員招集から出勤までの時間はどのくらいか。」や「24時間、365日ダムを管理しなければならないが、職員が宿直を行っているのか。」など、利水者の皆様がダムの管理業務に関して感じておられる質問や意見を伺うことが出来ました。

今回の施設見学会を通じてダム管理業務をご理解いただき、ありがとうございます。

今後も引き続き、機構のダムや水源地域の現状等を紹介し、利水者の皆様にとって有意義な施設見学会となるよう努力します。

利水者サービス課



【高山ダムを目の前にして、放流状況などを説明】



【ダム堤体内で観測計器の概要説明】



【防災時における放流の原則を説明】

(2) 機構職員、村野浄水場で水の製造を学ぶ!

夏の暑さを思わせる5月28日、機構が管理する水がどのように利用されているか直接見て学ぶために、大阪広域水道企業団村野浄水場の皆様のご協力により、浄水場の見学をさせていただきました。今回の見学は、本年4月1日以降に水資源機構の関西支社管内へ異動した者も含め18名が参加しました。



【村野浄水場会議室】



【沈でん池と太陽光パネル】

まず、見学に先立ち、機構関西支社において大阪広域水道企業団の事前勉強会を実施後、村野浄水場へ移動しました。

村野浄水場の敷地に入って最初の感想は、「広い」その一言に尽きました。

それもそのはず、村野浄水場は昭和38年7月に通水を開始し、増加する水需要に対応するため順次施設の拡張整備を行い、現在では、琵琶湖・淀川（機構施設では、淀川大堰、高山ダム、青蓮寺ダム、正蓮川利水、琵琶湖開発、日吉ダム）を水源として府営水道の約8割の水を製造・給水しており、日本で最大の給水能力(1,797千 m^3 /日)を有する施設なのでした。

村野浄水場では、はじめに会議室において村野浄水場に勤務される田中主査から上水場の説明をいただいた後、水が処理される順に各施設の見学をしました。

村野浄水場は大きさだけではなく、オゾン処理や粒状活性炭処理

の高度浄水処理設備を有しており、また、平面の浄水施設だけではなく、世界でも珍しい立体の階層式浄水施設があり、敷地を有効に活用して「安全でよりおいしい水」を送水されております。

※ 村野浄水場高度浄水処理施設の建設は、土木学会から平成10年度の技術賞を受賞されました。

また、環境にも配慮する取り組みをされており、水位差発電設備や太陽光発電設備から作り出されたクリーンエネルギーを使用することや、排水処理施設から排出された脱水ケーキを発電機の廃熱を利用して乾燥させ、園芸用土（あくあふれん土）などとして販売をされております。

送水管理についても、総延長約560kmの管路により大阪府内の42の市町村へ送水しており、昼夜を問わず水の流れや水質を監視を絶やさず、水を使用される方々が安心できるよう送水管理をされています。



【オゾン発生器】



【浄化管理センター(監視盤)】



【高度浄水処理棟屋上】

見学を終えて、村野浄水場は施設のみではなく職員の皆様の水にかける熱意により「安全でよりおいしい水」を使用される方々へ送水されています。私達も、水源を管理する者として、大切な水を責任を持って管理しなければならないと再認識した見学会でした。

最後に、見学にご協力いただいた村野浄水場の皆様、お忙しいところありがとうございました。

フ. イベント情報

(1) 報告

① “湖と田んぼの自然にふれあう”自然観察会の開催

琵琶湖開発総合管理所 環境課 滝本 雅之

毎年恒例となっている自然観察会が、平成24年6月17日に滋賀県高島市で行われました。

この自然観察会は、平成18年から「昔、琵琶湖で普通に見られた“うおじま※1”や田んぼへの産卵の風景を復活させ、琵琶湖固有種であるニゴロブナ、ゲンゴロウブナやホンモロコを増やす」ことを目的として活動している「琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会」が開催し、琵琶湖開発総合管理所も当協議会のメンバーとして参加しました。

当日の朝方は、雲に覆われた梅雨らしい天気でしたが、開会式が始まるころには少しずつ青空が顔を出す絶好の観察会日和となりました。参加者は、小学生くらいの子どもやその親を中心に約80名参加され、地元の新旭地区の住民の方をはじめ、遠くは大阪からの参加もありました。

自然観察会は、協議会のメンバーが管理するビオトープ※2(名称:みずすまし水田)にて、実際の観察を行いました。参加者は、協議会のメンバーから魚を捕まえる方法やコツを教わったあとビオトープ内の水路に向かい、一心不乱に網を振っていました。

今年生まれたばかりのフナ類の稚魚をはじめ、絶滅危惧種のスジシマドジョウやトウヨシノボリなどの魚のほか、おたまじゃくしやザリガニ、ヤゴなど、多数の動物が確認でき、参加者も楽しんでもらえたと思います。その後、近くで取れた仔アユや野草のてんぷらを食べ、琵琶湖周辺のめぐみを体感して閉会となりました。

今回の自然観察会では、参加者に琵琶湖と田んぼの関係、自然の豊かさを肌で感じてもらえたのではないかと思います。

水機構では、今後とも琵琶湖と内湖(水辺)の連続性の確保に努め、生物多様性の確保に努めてまいります。



集合写真



一心不乱に魚を捕まえる参加者



捕れた魚の説明を真剣に聞く子どもたち



捕れた魚に興味深く見る子どもたち

※1「うおじま」とは、産卵のために湖岸に近づく魚の群れが、まるで島のように見えた様子をこう読んでいました。

※2「ビオトープ」とは、魚類が繁殖・生息するための環境整備を実施した場所です。

②青蓮寺ダム周辺の森林浴っぽい環境のもとで 名張クリーン大作戦 大成功!

関西支社 中津川管理室長 名和 勝則

今年も「名張をきれいにしましょう」を合い言葉に名張市内全域で、6月3日クリーン大作戦が行われ、水資源機構職員総勢37名、青蓮寺ダム側に21名(関西支社から3名)、比奈知ダム側に16名が参加しました。

今年度全体参加人数は、なんと約5,470名が参加されました。

水資源機構木津川総合管理所の青蓮寺ダム湖周辺及び比奈知ダム湖周辺の清掃活動を実施、早朝に小雨があり、天候は心配しましたが、雨に降られることなく行われました。

～ 青蓮寺ダム湖奮戦記 ～

青蓮寺ダム湖周辺の道路下に散在する不法投棄の中に、大型トラックのタイヤ5本を含む大型ごみが多数あり、「あげあげ隊」は、ギググリ腰にも注意しながら、不法投棄の大型タイヤ等の改修に悪戦苦闘。

青蓮寺ダム湖・比奈知ダム湖周辺は、地元自治会や企業の団体も一緒に、大切な地域の施設を守っていくことに繋がったと思います。



大型ごみの回収作業



道路下から大型ごみの回収



あげあげ隊は、大型トラックのタイヤ5本を含む大成果



全員協力でひきあげ

何か心まで豊かになった気分で作業が出来たことの喜びを感じました。

③爽快!! 青山高原つつじクォーターマラソン



谷 雅典

第25回 青山高原つつじクォーターマラソン大会に参加しました。

5月27日 日曜日。この何年かでは珍しい五月晴れとなった本大会は、25回という節目 = 辻本実行委員長のご挨拶でも「25回はクォーター」とのことです。100回ねらい、ということですね。

昨年・一昨年とも荒天にて中止、3年前も冷たい濃霧に震えながらの天候が続いたことからしますと、打って変わっての見事に爽快な大会となりました。三角点の展望台からの眺望も素晴らしく、少し霞んではいましたが、榊原温泉を越えて、遠く旧久居市・津市の方までも望むことができました。

衆議院議員 中井 衆院予算委員長、内保伊賀市長の開会挨拶に始まり、参加者1,317名の盛大な大会となりました。家族・応援団は数えきれませんでした。主催された伊賀市に対しましても、お慶び申し上げます。選手の皆様も応援の皆様も大会関係者の皆様も全員が笑顔々々でした。

幾つものアップダウンの厳しいコースではありますが、毎年参加する方が多く、25年皆勤!の方も、また、北海道から広島まで遠方から、その魅力 = つつじが咲き乱れ、時折 谷から吹き上げる爽やかな風を胸一杯吸い込んでの快走だからではないでしょうか。(標高700mで下界より4℃は涼しい?)

当機構からの参加は、どうもM氏と筆者だけだったようです。奈良県大門ダム建設に参画し、現在は一庫ダム管理所勤務のトライアスリートM氏は、ナゴヤマラソンのTシャツで、クォーター 10.55kmにエントリー。

筆者は、例年どおり5km、前々日の練習中に左足薬指の肉刺(マメ)を潰したワリには3年前の記録から1分14秒短縮することができ(短縮のノリシロがたっぶりあったとの説も・・・71位/139人は、中位ですね)、ひとりでほくそ笑んでおりましたが、クォーターのゴールで応援していると、最後の苦しい登り坂から帰ってくる皆さんが全員笑顔でのゴールなのです。やはり、爽快さを感じながらの「完走」は、この上ない充実感なのだろうな、と感じました。次回からはクォーターにエントリーしようか、と心が蠢き始めております。

給水所では、小学高学年の方々でしょうか、補給を手渡しでしてくれました。丁寧に受け取ろうとして、選手は皆、立ち止まったりして、感謝の気持ちを込めて飲んでいました。コップを落として水浸しになりながらも、笑って騒いでいました。ありがとうございました、次代のアスリートたち!

皆さんも爽やかな青山高原の風を切って走ってみては如何ですか、風力発電の風車がブンブンうなって応援してくれます。

(MIZUshiGENKIkoh のTシャツ 関西支社 総務部長)

(2) これからの予定



年間を通して水の使用量が多く、水について関心が高まる8月1日を「水の日」、その週を「水の週間」として、各地でイベントが開催されます。

今年も、関西管内の各地で（水資源機構を含めた）それぞれの機関が開催する“水の週間”行事やその他イベントが予定されております。詳しくは、下記に記載する各イベントのHPをご覧ください。

行事名	開催時期	開催場所	主催	概要
第28回 青山夏祭り	7月15日(日)	三重県伊賀市青山町 (青山ホール前駐車場)	伊賀市青山支所	展示、バザー、 盆踊り、花火大会など
	(かんこうみえHP) http://www.kankomie.or.jp/event/detail_9499.html			
奈良県 山の日・川の日	7月16日(月)	奈良県宇陀市室生大野 (室生ダム管理所) 奈良県桜井市初瀬 (桜井浄水場)	木津川ダム総合管理所 室生ダム管理所	ダム施設の見学、 桜井浄水場見学
	(木津川ダム総合管理所HP) http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/03kan/03_muro/120530murou_yamanohi.pdf			
布目ダム見学会	7月22日(日)	奈良県奈良市北野山町 (布目ダム)	布目ダム水源地域 ビジョン協議会	ダム施設見学、水生昆 虫観察、木工クラフト
	(木津川ダム総合管理所HP) http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/03kan/04_nuno/pdf/20120722_nuno_ivent.pdf			
ひよし夏祭り 2012	7月22日(日)	京都府南丹市 (日吉ダム下流広場 ・スプリングひよし)	日吉町観光協会	露店、花火大会など
	(日吉町観光協会HP) http://ameblo.jp/hiyoshikankoukyoukai/entry-11293141878.html			
青蓮寺ダム 施設見学会	7月24日(火) ~8月30日(木) <small>※火・木は午前中のみ</small>	三重県名張市 (青蓮寺ダム)	木津川ダム総合管理所 青蓮寺ダム管理所	ダム施設の見学など
	(木津川ダム総合管理所HP) http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/09topic/pdf/120627syourenji_kengaku.pdf			
比奈知ダム 施設見学会	7月29日(日)	三重県名張市 (比奈知ダム)	木津川ダム総合管理所 比奈知ダム管理所	ダムの堤体内見学、 地域特産品フェアなど
	(木津川ダム総合管理所HP) http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/09topic/pdf/120531hinati_kengaku.pdf			
美しい猪名川を 第6回流木ペイン ティング大会	7月29日(日)	兵庫県川西市 知明湖キャンプ場	一庫ダム水源地域 ビジョン協議会	知明湖に流入した流木 を使った作品作りと会 場周辺の清掃活動
「水の週間」 ダム見学会	8月1日(水)	三重県名張市 (室生ダム・比奈知ダム)	・奈良県 ・水資源機構関西支社	ダムの堤体内見学、 桜井浄水場見学
	(奈良県HP) http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-28099.htm			
天若湖アート プロジェクト 「あかりがつなぐ 記憶」	8月4日(土) 5日(日)	京都府南丹市 (日吉ダム貯水池)	天若湖アート プロジェクト委員会	湖底に沈んだかつての 家々をLEDの明かりで 湖面に再現する壮大な アートイベント
	(天若湖アートプロジェクト2012HP) http://amawakaap.exblog.jp/			
河川環境 フェスティバル	8月4日(土)	三重県伊賀市阿保 (木津川河川敷)	河川環境フェスティバル 実行委員会	環境パネル展示、 魚つかみ等
桐ヶ丘夏祭り	8月4日(土)	三重県伊賀市 桐ヶ丘地区	桐ヶ丘地区 住民自治協議会	露店、パネル展示等
夏でもひーんやり 「一庫ダム内部見 学&説明会」	8月18日(土) 19日(日)	兵庫県川西市 (一庫ダム)	・能勢電鉄株式会社 ・水資源機構 一庫ダム管理所	ウォーキング・ ダムの堤体内見学など

8. 青蓮寺ダム・比奈知ダム・室生ダムが地元テレビで紹介される!

三重県名張市のケーブルテレビ（株）アドバンスコープのシリーズ企画「このまちのかたち」で、『私たちの命と財産を守る ダムの働き』と題して、青蓮寺ダム、比奈知ダム、室生ダムが紹介されました。

番組は、平成24年6月1日（金）の20時15分から15分間放送され、各ダムの管理所長へのインタビューを中心に、名張市内の方々に、洪水調整などのダムの役割・働きをわかりやすく紹介して頂きました。

これから梅雨や台風などによる大雨の季節となりますが、下流の皆様が安心して暮らせるよう、適切なダム管理に努めて参ります。

番組は、6/13、14の施設見学会でも紹介させて頂きましたが、ご覧になりたい方は、是非ご連絡下さい。

（関西支社 利水者サービス課）

9. ダム技術者の原点「黒部の太陽」がついに関西地区で上映



水レター4月号において、平成24年度あいさつ「随想”黒部の太陽”を見て44年前にワープ、そして原発事故に思う」（関西支社長 原稔明）において紹介された映画「黒部の太陽」（ノーカット版）がついに関西地区で上映されます。この映画は、我々ダム事業に従事する技術者、全てとは言いませんが、ダム建設を志すきっかけとなった誇り高き作品であるほか、昭和43年2月に公開されて以降、生前の石原裕次郎が「こういった作品は映画館の大迫力の画面で見たい」との理由から、ソフト化されていないこと、これまで特別上映しか行われず、特別上映以外では実に44年ぶりに上映されることとなったものです。

また、この映画は東北大震災の復興を祈念して、経費を除いた売り上げを義援金として被災地に届けられるとのことです。是非皆様も「ダム屋の魂が詰まった」名作を近くの劇場にてご覧下さい。

上映スケジュールは、下記アドレスをご参照下さい。

<http://www.ch-ginga.jp/special/yujiro.html>

（関西支社 利水者サービス課 今井）

[水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。（耳寄りな情報もお待ちしております。）](mailto:w-kansai@msg.biglobe.ne.jp)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp

水資源機構では、平成24年3月16日より、新たな情報提供手段として公式ツイッターを始めました。



水資源機構ツイッターのURLは、
http://twitter.com/jwa_PR

ツイッターを通じ、水資源機構HPに掲載している情報等を発信してまいります。

水資源機構として、これまで以上にタイムリーで広がりのある情報発信に取り組んでいきますので、皆様からのフォローをお待ちしています。是非ご利用下さい。

10. 編集後記

今年4月から関西支社利水者サービス課に配属された内海(ウツミ)です。

この度、本号において編集後記を担当することとなりましたので、私の簡単な紹介と日常の出来事を書かせていただきます。

私は、群馬県北部の田舎町に生まれました。生粋の「上州っ子」です。

実家はりんご農家を営んでおりますが、私はみかんが好きなため、みかん農家だったら良かったと思うことが度々あります。

群馬県内には、機構の施設である矢木沢ダム、奈良俣ダム、下久保ダム、草木ダムそして群馬用水があります。このため機構の仕事内容は子供の頃から知っていたことと、群馬県内の事業所に確実に配属されるという甘い考えで試験を受け、昭和63年4月に当時の公団へ入社しました。

ところが、最初の赴任地は比奈知ダム建設所でした。その後各地を異動し、勤務した事業所も関西支社で10箇所目を迎えました。

自宅は福岡県にありますが、家族と老犬を残し単身で大阪市鶴見区に引っ越してきました。全く知らない土地での久しぶりの一人暮らしですが、夢の単身赴任(独身)を満喫中です。

次に日常の出来事から。

比奈知ダム建設所に在職していた時に、大阪では「国際花と緑の博覧会(通称:花博)」が開催されていました。私は花が似合う男ではないのですが、花博には行ってみたいと思いつつ気が付けば閉幕してしまいました。

大阪へ引っ越して初めての日曜日のこと、今の居所が偶然にも「花博」会場の近所(居所を決めた後に知りました。)ということと、現在の会場跡地がどのように利用されているのか興味があり、また、桜の季節でもあったため「花博記念公園鶴見緑地」へ出かけました。

公園は非常に広い敷地ですが大勢の人で賑わっており、桜は見頃で、風車の丘のチューリップも綺麗に咲いておりました。

公園に行った時間が昼食時ということと、朝から天気が良く気温も過ごし易いこともあり、花見酒を飲むご機嫌な方々が5割、ほのぼのと家族水入らずで弁当を食べる方々が2割、私と同じように桜を見に来た方々が2割、そして残りの1割は・・・、コスプレでアニメのキャラクターになりきって桜と一緒に写真撮影をされている方々でした。

皆さんの過ごし方に違いはありましたが、桜の下、春の一日を楽しまれていることは共通しているようでした。

それ以来、「花博記念公園鶴見緑地」に行く機会がありませんが、広くて綺麗な公園です。皆様も散策などに行かれてはいかがでしょうか。

最後に、初めての利水者皆さまの窓口業務となることから、ご迷惑をおかけしないよう、全力で対応させていただきます。

今後ともよろしく申し上げます。



花博記念公園鶴見緑地(風車の丘)

関西支社 利水者サービス課 内海